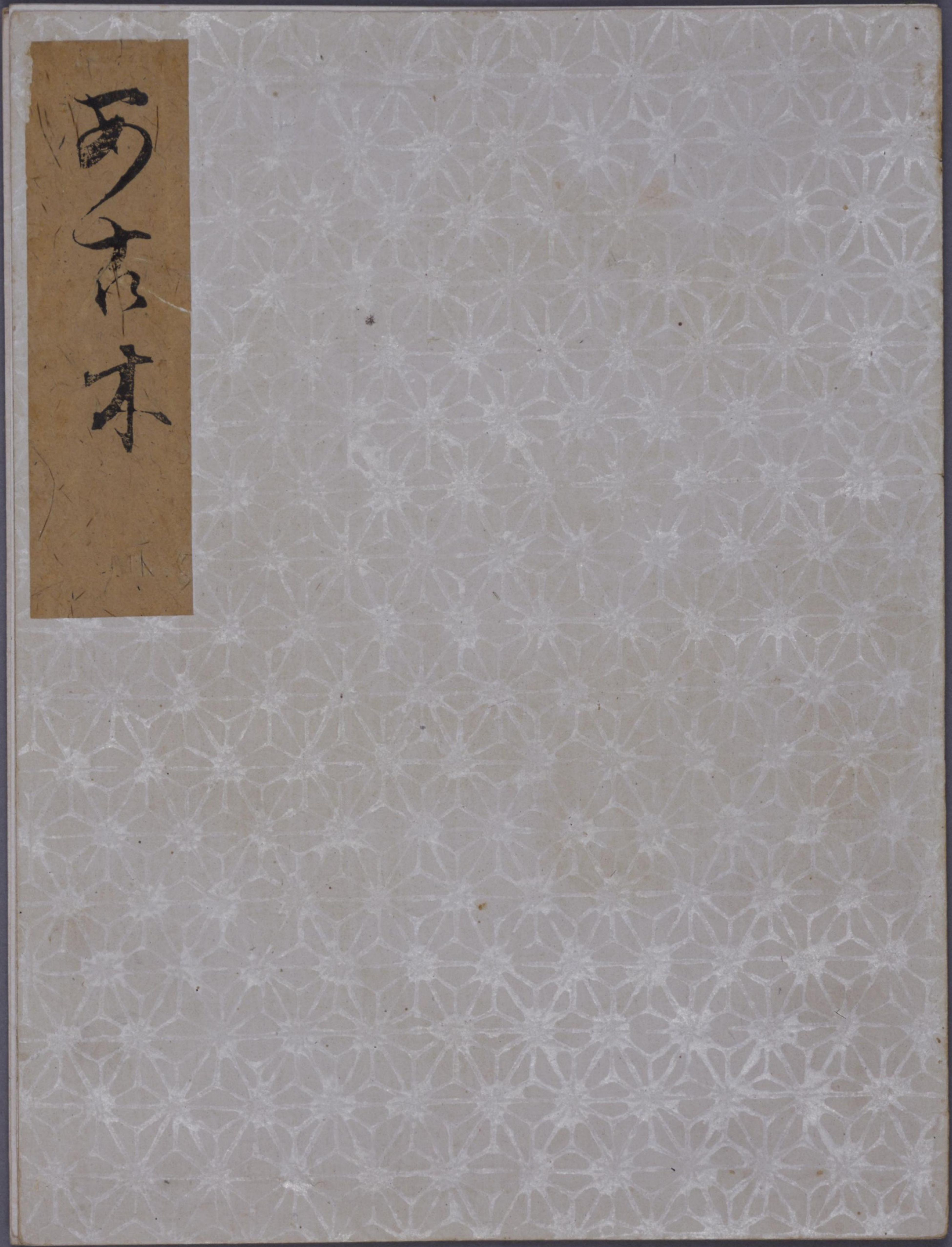


あこ木

国立国会図書館

次第

心徒くし乃秋のをふ゛く木落

る乃月そはかなき

詞

是ハ九州

日向國乃者にて候我いまた

太神宮にまいらず候程に

思ひ立て候

道行上

日にむかふ國乃

浦舟漕出て〲八重乃潮路を

遥ゝわけきし波乃淡路なる

書 17.Ⅲ.-6 国会図

国立国会図書館

通ふ千鳥の聲ゆへに、猶も寝覚を
須磨の浦関の戸ともに明暮て
阿漕か浦に着にけり急ぎ候
程に是ははや伊勢國阿漕か浦に
着て候暫一見せばやと思ひ候
波なうてばれ候もかゝる海士衣
男の秋の清水ぞはらまし又秋
世を渡る業習ひ来一人に任らる
世は習めでは職をいとなむ田夫
ともなれば浦の漁殺生の
家に生まれあくる秋もここ家を
こと捨れずの不あしきよ備る末
うわくく條殺生の形思へ世
渡世乃わざまでは程までも

又鍋に出て後（ワキ詞）いかに是なる
尉殿にたづね申べき事の候
（シテ詞）こなたの事にて候か何事
にて候（ワキ）伊勢国にとまりても
此浦をはいかなる所と申候
（シテ）さん候此所をはあこぎが浦と
申候（ワキ）さてハ歌によみたる阿漕の
浦にてはありけるぞや古歌に
（下カル）伊勢の海阿漕が浦にひく網も
（詞）度重なれはあらはれにけり様に
読まれし浦なるぞや（下カル）面白や作
（シテ詞）あらやさしの蜑人や所の和歌
なればさながらきこえてく實
は六帖の歌に（下カル）あふ事も阿漕の

浦に引網も度重なれは顕れや　詞
おぜ其様に讀れし蜑人なれハ
ぎもちうなる伊勢おの海士が
ぐんろ光もなききみなれそへて
明屋し見行山に山かよ　上カル　きくや
必所間隠に別て年経ハ心なる
上カル　蜑がたくもの夕煙　身我たく

へ来小はあまとも　すめる
所によ依浪の　音もかはける
上三ノ内　行く　草の名も所によりて
かりまくわくし難波の芦は
浦風もさびしき伊勢の濱荻の
なとぐ我語て行く藻塩焼煙も
そハたしかくわ月見世とても

国立国会図書館

海士乃志わざに心ざす搦るゝ程や
蜑衣ぞ路によわく成人なまこ母
以りて浦へ参り　半詞　此浦を阿漕かり
浦とや以ゝ程浅物かゝる事ん
三ノ拍子
しるまして此浦をあこぎか浦と
申すぞ伊勢太神宮御降臨より
こなたぞ御膳調進の網をひく

所やさゝ程ハ神乃御誓ひによりて
まや海辺のう浦は江により
多く思てぞ浮世を渡るあまりに
蜑人此所に住て身を世と
いく世ぞ神お誓をう程き小より
望みいましめて兄を揺るさぬ
所に阿漕と云海人有乃みこせ

心乃やミハよな〱しのひて
あみをひくしばし者人もしら
ざりしに度かさなれば顕れて
阿漕をいましめ所をも替へず
浦乃沖に沈めくわざかなふに
伊勢をの海士乃罪姆り我哉
くるし見乃海におもむきて

おもき罪科をぞうくるや定業乃
なまそも娑婆にて於名よし
おふぞも何こまりうらめしや
呵責乃せめも隙なくて苦見も
うひそゝな流法見幽姆うくを
行くやまはりしやいよへ哉
ざうらもあまわくよあこきり

うきなもらす我ならぬ世語乃
ことに錦木の数はもわ千束の
ちきわ世ぬ身乃阿漕のたとへ
うきなふ流が乃わ業ことゆえし
天哥人乃思ひ妻あこぎく此
云り我も責一人よ度重なる世
悲しき　かきやねハ魚昊の
まぼろしなりし所まで我心から
浦波乃あり難きわく法値遇哉
一樹のやどわなせも他生の縁と
ゆ物をぞ漕我も前の世乃値遇を
れきし松陰よらふ袖たまへ
墨衣　はも身昔の揚燈ぞうふ
まさや漁火の　影もほのりふ

思へし初て海士もいよしお勢に
はりや手くわ浪あ見乃浦
ぐくわか庵しくうよぬ沈まず
思ひしわも儀ふりやて小義波
はる闇より来くれてじき波も
たちまちひ漁乃とり消え勢て
こいろも以るよ悲きけぬ罪於

浪よゆえしりわがまゝ恨みつゝ
あくう勢りくわく ゆゑ
帰りなん数くおぼく法の中にも
一乗乃妙なる花ひもと義て
菩乃苔の道なるを頼よひかた
〳〵〳〵 く 蛍おのる
蓮よ以葉虫乃かまつりけ成

上
ことさらなりし殺生をいましめし
ど宵は過ぎし浪あまさずの御膳の
贄の網はまさひまきぬよるあみ

詞
よなよな隠なれど夕月なればぞよひ
よわ屋りそへの猛のほどをさかな
人目をしのびひくふびたびの網の
沖にも磯にも舩はなくれたゞ
かまゝの見るのこゝの海あこきの
猛本こゝもしをそて、な哉猶心の
網をも世を、伊勢の海清き渚の
たま〳〵も、とふきうたよる
法の辭、耳にはきくともなき哉
心には、たゞは見をの見もち
あみのだまとは、いうん流猛火哉

上

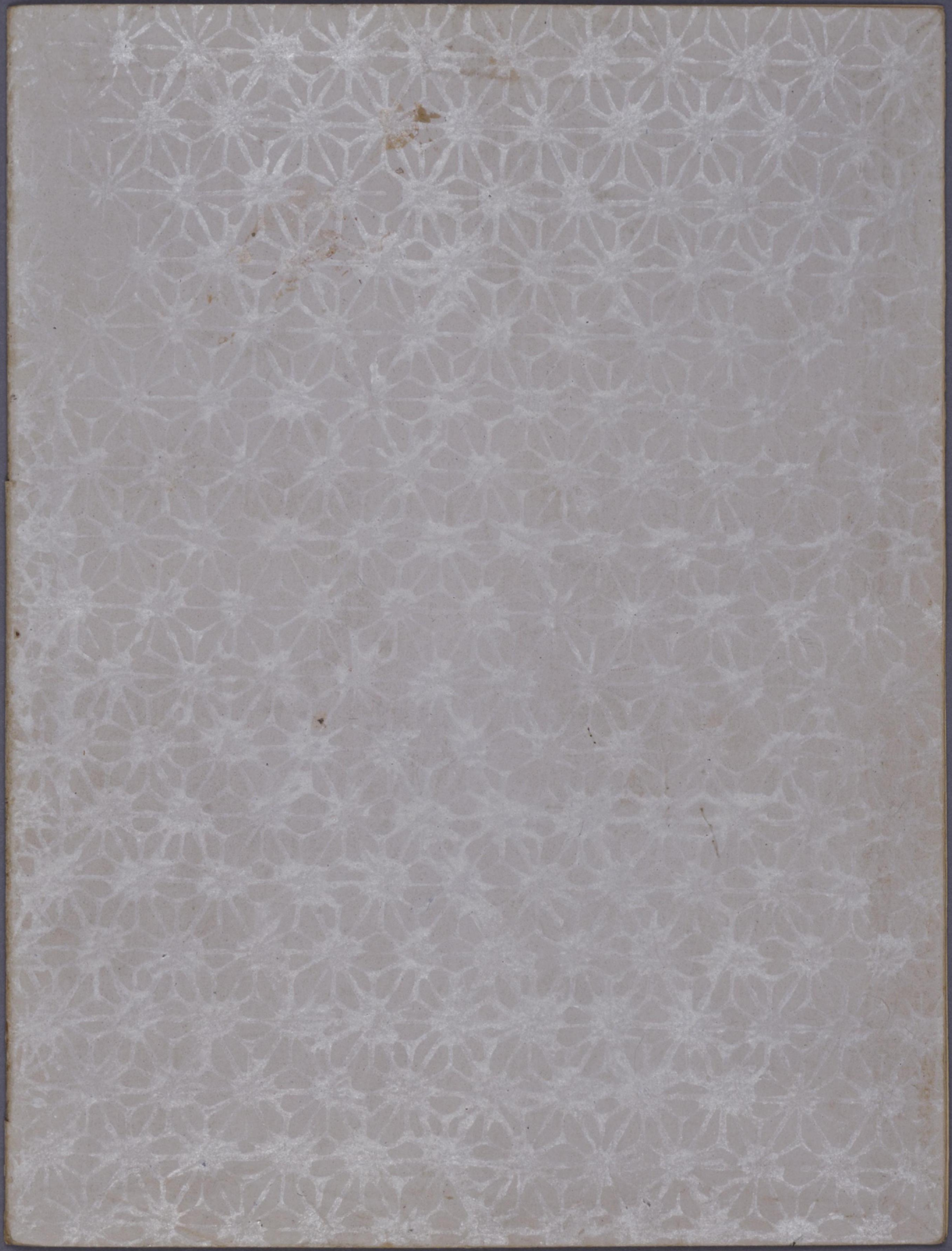
かなしや罪あだやぞんまらや
ましし見えしはたゞしらぬ人の夢ぞ
ざんよや因果に廻るくるま火車に
業にせ数くはしめて目にあの
地獄も遠わくよぼそうにし見
さしきやおもふもうし
ゐ母し魚に〳〵娑婆乃路を

えしあこぎり此浦に殺生心乃
心ひく網乃魚取殺しゝ報は
それハこの人落て悪魚毒蛇と成て
紅蓮大紅蓮に氷に閉られて
声をくたくハさけぬ胸きを
焦熱大焦熱乃焔煙雲霧立居に
ひまもなかる冥途乃さめもうひ

みそしかるあこきの浦乃罪科を
たれくたまへや旅人よたすけ
給へやうひ人とてまたなみに
のよくわみ浪乃底よのにくわ

国立国会図書館

国立国会図書館



国立国会図書館